

# 子どもたちの日記から 文法のあやまりがへった！

ろう学校での日本語文法指導—江副文法を活用して

神奈川県は平塚ろう学校の糠信匡男先生。「子どもたちとわかりあいたい」  
養護学校から異動してきて、まず手話獲得に燃えて数年が経ちました。

そして「ろう学校の教員は日本語を教えられてなんぼ・・・」と言われるも、こどもたちの日記を  
読むと「きれいかったです。」「行くでした。」「・・・」。

そんな時『日本語の助詞は二列』（江副隆秀著）の本に出会い、その著者が開く日本語学校の門  
をたたくことになりました。そこでは、「は」と「が」の違いを外国人に説明するのに、「そうは言  
わない」といった直し方はせず、視覚的にわかるように図解していたのです。日本語を教える教員  
として日本語文法がよくわかった！ その上で「そうは言わないよ、ではなく、ルールを示すこと  
ができて混乱が減ってきました。」 こう言えるようになるまでの2年間のろう学校での日本語文  
法指導の実践をお話しいたします。

期日 2008年11月15日（土）午後1時30分～4時30分

場所 中央区立京橋プラザ区民館2階多目的ホール

（中央区銀座一丁目25番3号 TEL：03-3561-5163）

講師 糠信匡男先生（平塚ろう学校小学部）

参加費 会員500円 非会員1000円

申込 11月12日までに下記あてお申し込み下さい。

申込先・問合せ先 eメール [k.kato@sakado-sd.sd.spec.ed.jp](mailto:k.kato@sakado-sd.sd.spec.ed.jp)

FAX 048-857-0762 加藤慶子

## ・東京メトロ有楽町線

新富町駅下車

2番出口 徒歩5分

## ・都営地下鉄浅草線

宝町駅下車 A1番出口

徒歩5分

